

地球惑星科学委員会IUGG分科会IASPEI小委員会（第23期・第5回）

日時 平成28年10月5日（水）13：00～14：00

会場 名古屋国際会議場2号館 3F 234号室

出席者 佐竹（委員長）、山岡、入倉、モリ、久家、吉岡、田中（幹事）

オブザーバー IAG-IASPEI実行委員会 日置、田中、木下、加藤、前田

欠席者 末廣、横井、川瀬、長尾、熊谷、中原

議題

(1) 前回(第23期・第4回)議事録案を確認した。

(2) 2016 年ASC総会について

横井委員からの報告書に基づき、佐竹委員長より進捗状況が報告された。

建築研究所はブースを出すとのこと。

地震学会NLには横井氏が報告書を執筆する。

ASC進捗状況については、1st, 2nd サーキュラー発行済み。11/25-27メルボルンのMelbourne Convention & Exhibition CentreにてAustralian Earthquake Engineering Society年次大会と合同で開催される。暫定的なセッションプログラムはホームページで公開されているが、詳しい内容は未定である。

IASPEIの地域総会という位置付けなので、IASPEIビューローメンバーとして佐竹氏が参加。

ASCビューローの選挙がある。建築研・横井氏はプレジデントとして打診されている。本IASPEI小委員会も横井氏を支持する。

地震学会からはLOCに100万円の財政支援を行った。

次の開催地は情報収集中。

(3) 2017年IAG-IASPEI総会について

佐竹委員長より進捗状況が報告された。

IAG個人会員に関しては、登録料を下げるような特別な対応は行わない。

今後のスケジュールの説明がされた。重要な期日は、予稿投稿締切とトラベルサポート申請締切が2017年2月8日である。

2017年4月18-22日に IAG, IASPEIの事務局長が出席するプログラム委員会が開催され、プログラムを確定する。

予算案について

予算担当 三宅さん

寄付担当 加藤照之さん、目標 200万円。募金趣旨書を検討した。

団体からの寄付は難しいとの見通しが示され、団体展示の方が期待されている。個人の寄付も期待されている。

予算案として、参加者人数1000人案、1500人の二案を準備。

運営費に関する補助金の申請先が紹介された。

万博記念基金の割合が総経費の5%以下だと不採択とのこと。

日本学術会議、神戸市、中内財団からは財政支援を受けられる見込みである（ともに500万円または総額の約5%）。

発表採択後のキャンセルを減らすために、登録料入金、発表採択、プログラム作成などの順序とタイミングについては検討事項とした。

会場 神戸国際会議場 口頭発表・展示

商工会議所会館 ポスター

オープニングセレモニーについては、ポートピアホテルを仮予約しているが、国際会議場の大ホール〔700人収容〕で十分であろうと見込まれるので、キャンセルする予定。

アイスブレイカー 日曜日 市民広場でビアガーデン

ポートピアホテルよりケータリング

雨天の場合はポートピアホテル

IASPEIバンケット 動物王国（利点として、貸切可能、参加者が一堂に会することができることが挙げられた）

IAGバンケット IASPEIバンケットと別の日程、別会場

サイエンス・プログラムは、IASPEIのビューローメンバー、コミッションなどでセッション案を作成中。幾つかのセッションについて日本からのコンビナーの推薦を求められている。

IASPEIからSubduction zone process、IAGからKinematics and dynamics of plate boundaryというセッションが提案されているが、重複する部分があるので整理を求められている。

Geohazard early warningについても意見を求められている。

IASPEI小委員会メンバーには、適当なコンビーナーがいれば、実行委員会へメールによる紹介を依頼した。意見がある場合も同様。

(4) その他

なし。